



喜界高だより

No.124

令和6年3月1日発行

鹿児島県立喜界高等学校

〒891-6201 鹿児島県大島郡喜界町赤連2536
TEL: (0997)65-0024 FAX: (0997)65-0217

校訓
自主自立
開拓創造
公徳奉仕

12月7日

中高合同発表会・芸術鑑賞会

きかい学/がじゅまる



総合的な探求の時間「がじゅまる」での
成果を発表しました

伝統芸能である落語と
紙切りを鑑賞しました

12月20日, 21日 クラスマッチ

12月25日 生徒会交流会



サッカーやバスケットボールなどの競技をとおして
クラス内の絆が深まりました

与論高校の生徒会役員と
オンラインで
交流会を行いました

今後の主な行事（～4月）

3月5日(火),6日(水)	一般入学者選抜 合格内定者到達度テスト
3月25日(月)	修了式・離任式
4月8日(月)	新任式・始業式
4月9日(火)	入学式
4月17日(水)～24(水)	家庭訪問・三者面談



卒業生へ ～贈る言葉～

島と喜高をいつまでも胸に

校長 松野下 修司



島に吹き付ける海風が少しづつ和らぎ、陽光が春の訪れを告げるよき日に卒業を迎える卒業生へ心よりお祝い申し上げます。振り返れば皆さんの高校生活はコロナ対応から始まり、昨年五月から徐々にコロナ禍以前の生活に戻りつつありますが、依然各種感染症の流行は頻発し、本校の行事等へも少なからず影響がありました。そのような状況においても三年生として生徒会を中心にリーダーシップを發揮し、体育大会・榕樹祭をはじめとした各種学校行事を成功に導き、三年間の成長を頼もしく感じる一年でした。

現代の社会は、世界的には地球温暖化、サブライチェーンの地球規模での発展、AIをはじめとしたデジタル技術の功罪、日本においても少子高齢化、人口減少社会、働き方改革による労働生産性の向上など社会は様々な課題を抱えたまま動き続け、以前のモデルが通用しない正解のない社会に突入したと言われています。そのような社会を生き抜くためには、自ら必要な情報を求め思考を止めずに人生を切り拓くための行動を起こす力が求められています。三年間の高校生活で自ら考え行動してきた皆さんは、この力を十分に身につけていると確信しています。

これまで皆さんの成長を支えてきたのは、喜界島の持つ教育力です。喜界島には地域で子どもを育て上げる文化が根強くのこっています。地域においては行事参加や伝統文化に触れることで、家庭においては家事や保護者の仕事を手伝うことで生きるために必要なことを自然と学んできたと思います。小中高の先生方が、地域からバトンを引き継ぎ、地域に協力を仰ぎながら皆さんの成長を支援してきました。皆さんがここまで成長する間に多くの方々が関わっていることを忘れないでください。そして、これからはみなさんが子どもたちを支える側になります。世界のどの地においても島のことを忘れずに、余裕があるときに島の子どもたちを支援してください。島のみならず子どもを育て上げる文化を絶やさないでください。最後に、この三年間保護者の皆様より多大なる御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

人生の主役はあなた自身

普通科三年担任 柿永 直毅

希望と不安を胸に喜界高校に入学したあの日から三年が経ちました。赴任したばかりで皆さんと右往左往していた入学当時のことは今でも鮮明に記憶に残っています。先輩に圧倒されながら過ごした一年。学習量が増え、毎日が必死だった二年。自らの将来と真剣に向き合った三年。今となればあつという間の三年間でしたが、皆さんの成長を一日一日傍で見ることができ、私にとってかけがえのない三年間になりました。一年次の学校行事を見ながら、三年生で活躍する姿を想像できませんでしたが、学校の主役として様々な行事を見事にやり切ったその姿に感動すら覚えました。「やればできる」の勢いをそのままに、進学・就職を次々に決めていく皆さんを頼もしく感じました。準備段階でくじけそうになったり、弱気になったりすることもあったでしょうが、壁を乗り越え合格を勝ち取ったことは、自信となり、新たな挑戦に立ち向かう力となるでしょう。人生は物語のようなものです。その主役は皆さんひとりひたひたです。自分で選択した道が正解であったと思えるように、日々努力を続けて、大輪の花を咲かせてください。いつまでも応援しています。

思いやりと感謝を

商業科三年担任 西村 友美

ご卒業おめでとうございます。高校生活はどんな三年間でしたか。ともに過ごしてきた仲間たちとの思い出を、たくさん残せましたか。みなさんと出会って、二年が過ぎました。楽しいことや辛いこといろいろありました。体育大会や榕樹祭、クラスマッチと行事がある中で、なんだかんだ言いながらも最後にはまとまって活動してくれる頼もしいクラスでした。そんな仲間たちと活動するのも卒業式で最後です。四月からの新生活に、楽しみや不安など感じている人もいます。当たり前にいた家族や仲間と離れてみて感じることもたくさんあると思います。仕事や生活の中で、良いことだけではなく、落ち込むことや悩むこともあるかもしれませんが、でもみなさんには心配してくれる家族や頼もしい仲間がいます。たまには連絡を取り合い、励まし合い、どんな困難も乗り越えて、成長し続けていってください。これからも、周りの助け無くしては、生活できません。思いやりを持って接し、感謝の気持ちを忘れず、ときには照れずに感謝の気持ちを言葉にしてみてください。二年間ありがとうございました。みなさんとご家族のみなさまに多くの幸せが訪れ、笑顔の多い毎日でありますように願っています。